

長谷川朝子のアイデアノート

はせがわともこ

アクセサリーの工夫

お化粧などでカバーできる顔とは違ひ、年齢が出やすいと言われる首。年を重ねるに連れ「大きく胸元のあいた服が着られないとお考への方が多いのです」。首を隠すのに一般的によく使われるのはタートルネックやスカラップですが、私がよくするのは、胸元のあいたお洋服を着て、レスのリボンにブローチをとめ、首に結ぶチョーカーです。あるいは、ネットクレースにお花のブローチをとめて、顔近くに置いたりもします。とてもふんわりとエレガントな装いができます。首回りを引き立たせるアクセサ

リード、おしゃれなコーディネートを楽しんではいかがでしょ
うか♪(写真A)

日曜夜のNHKのテレビ番組「ダントン・アビー」が大好きです。深夜の放送なのでビデオに録つておきます。後でゆつくり見て、出演者のファッショ



▶アメジストのネックレスに手作りブローチを組み合わせました。

▲レーンのネックレス、だいぶ昔はやりませんでしたか？ これは姑が持っていたものです。ブラウスと共に布の小さなコサージュを作りネットに安全ピンでとめました。（写真B）



写真B



「収納の仕方」



写真口

それともうひとつ。吉永小百合さんはお芝居で、振り向く時に腰からひねることを板東玉三郎さんに教わったそうです。そうすると首にしわが出ないそうです。私は日舞から肩を下げて首をぐつと伸ばすことを学びました。鏡の前でぜひお試しくださいね。

自分だけの楽しい時間、お洋服をいっぱい出して、上下の組み合いで、アクリルやリボンを加えて鏡の前でコーディネートしたりします。ストッキングの色や靴までそろえられた完璧です。おしゃれは組み合いで大切ですね。そうやって選んだ衣装は同じハンガーに掛けおくと、お出かけの時バタバタせずにすみますよ。

ンを自分のおしゃれに取り入れます。父が中国のお土産に私と母に買つてきたカーネリアンのネックレスがありました。ダサい感じがしてしまつたままでしたがこのように2つのネックレスを合わせ、石の間に玉結びを入れました。作り変えてからしようと使っています。(写真D)参考にしたテレビの映像を並べて、見比べていただきたかったのですが、著作権のことがあり、お見せできませんでした。

なかなかほどけなくなります。小袋に鎖を入れ、トップは見えやすいように出しておきます。

長谷川朝子さん

福島市在住。声楽家・ハープ奏者。長谷川音楽事務所、長谷川音楽スクール代表。大学講師やラジオのパーソナリティー、福島民友新聞連載「うたのふるさとを訪ねて」を執筆。また、全国の学校を回る演奏活動、番組審議委員、コンクール審査員を務めるなど多方面で活躍中。2013年に第23回みんゆう県民大賞芸術文化賞を受賞。



vol.09